

2011年4月9日発行・発売(毎月10日発行・発売)  
第17巻 第5号 通巻第202号  
1996年1月24日第3種郵便物認可

auto fashion import

インプ流始めの一歩の踏み出し方

# at imp.

5

www.autofashion.com/imp  
2011年5月号 定価700円 毎月10日発売  
次号2011年6月号は5月10日(火)発売

## スタイルアップ 基本レシビ

Hello Beginners & Freshers!!!



欧州スタイルアップユーザー特集

REAL EU STYLES

輸入車チューニング大特集  
CIRCUIT STUDIO MEETING at F.S.W.  
real direction MINI JCW

RS! imp.



imp Sound Style

写真●藤井元輔 文●三澤正充 (af imp.編集部)

# BEWITH

## Mercedes-Benz C63 AMG

問●ビーウィズ TEL:0942・85・8000 <http://www.bewith.co.jp>

純正インテリアを痛めない  
コンパクトなシステム構成

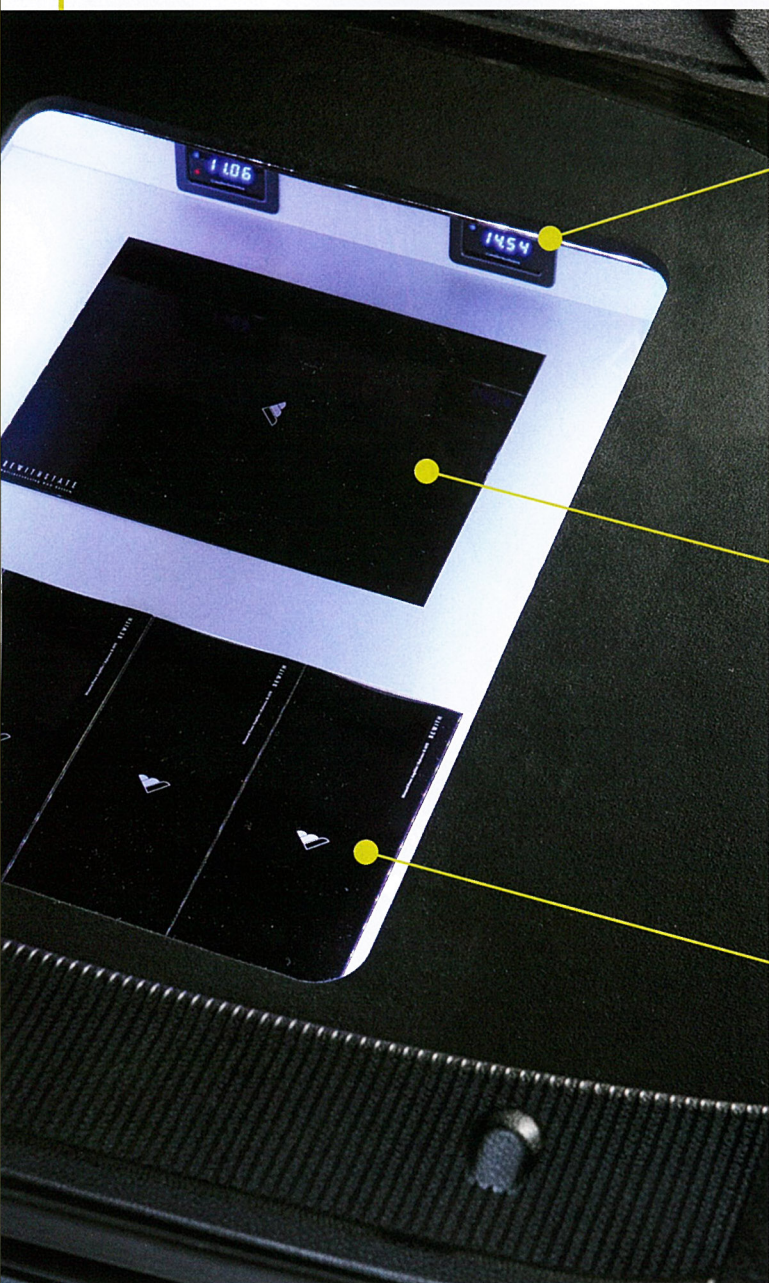
オーディオ機器というと、ターゲットとする音の方向性とコストに見合ったパーツを選び、それを組み上げるのがセオリー。その常識を覆したのが、日本が誇るハイエンドオーディオブランド「ビーウィズ」だ。アンプやプロセッサの音質を決めるキモとなるオペアンプを、新日本無線と共同開発。音質にこだわった半導体をイチから開発することで、究極の高音質を実現するデジタルプロセッサ「ビーウィズステート」を完成させたのだ。

今回のデモカーは25台限定の「C63 AMGパフォーマンスプラス」。エンジンに鍛造軽量ピストンなどを採用し、487psを実現した高性能モデルだ。そんなハイパフォーマンスセダンに、へヴィなオーディオはナンセンス。ビーウィズステートのほか、人気のスピーカー「アキュレートII」、メモリーオーディオ「MM1」などを組み合わせ、軽量・高音質なシステムを実現する。インストールも、ラゲッジはスペアタイヤ部分のみ使用。ドアスピーカーはインナーパツフルで装着し、純正然としたルックスに収めている。

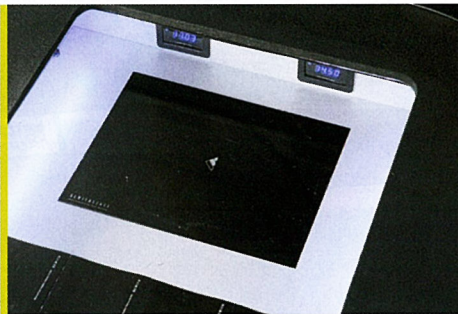
ビーウィズとしてはベーシックな構成だが、明瞭で透明度の高い音質は間違いなくハイエンドのそれ。走りと言質を見事に融合させたシステムだ。

ハイファイサウンドとハイパフォーマンスセダンの絶妙コラボ

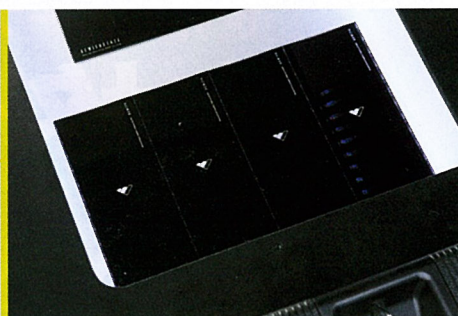
# 音と走りが並び立つ ライトウェイト・サウンドシステム



↑レギュレーター「R-70A」(¥60,900)により11Vから14.5Vまで電圧が増幅されたことを示すボルトメーター。オーディオ機器の性能を引き出すには必要不可欠

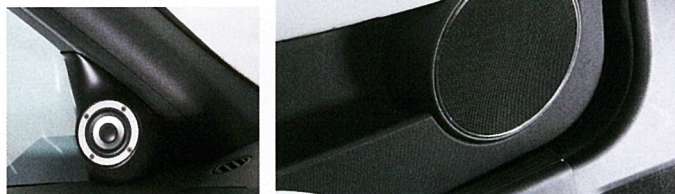


↑1台で6ch入出力に対応し、最大10台まで連結できる「ピーウィズステート」(¥210,000)。最大90バンド(15×6ch)のEQや、高性能クロスオーバーなどを備える



↑基盤交換により、既存のR107Sを、同社がSLRマクラーレン用に開発した「722S」と同等の音質に引き上げたモノラルアンプR107Sアップグレードを4枚搭載

↓→スピーカーは最量販モデル「アキュレートII」(A-50II、A-130II)ともに¥73,500)。A-130IIはインナーバッフルでドアに、ツイーターはドアミラー裏のカバーのみを加工してインストールされている



←最近では純正ユニットを残したまま、MM-1だけを追加して音質アップを計る人も多いとか



←CDやHDDと違い、無回転で動作するフラッシュメモリにいち早く着目。CFカードを使った高音質メインユニットとして、登場から早6年になる。MP3でも十分な音質が得られる。MM-1(¥210,000)

## SYSTEM

